

時間割コード	G1D11714	開講年度	2026			
授業題目	クリティカル・リーディング（中級）				担当教員	MCGUIRE STEVEN PAUL
英文授業名	Critical Reading					
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生
講義室	共通教育 5 3 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学DP					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	Critical Reading では、専門課程での学術探究に寄与するAcademic Skills (Critical Reading & Critical Thinking) の向上を目指し、多様な内容・スタイルのアカデミックな英語をクリティカルに読み、自分の意見や考えを批評的に述べる力を育成する。 様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）					
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking					
(6)授業計画	Week 1: Introduction: Explanation of course content, teaching policies, etc. Week 2: Unit 1: Travel / Reading 1: Forty Days and Forty Buses. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 3: Unit 1: Travel / Reading 2: Perfect Place, Perfect Job. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 4: Unit 1. Travel, Unit Review (Vocabulary Review & Connect the Readings). Week 5: Unit 2: Fire and Water / Reading 1: Nature 's Fires. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 6: Unit 2: Fire and Water / Reading 2: A Wall of Water. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 7: Unit 2: Fire and Water. Unit Review (Vocabulary Review & Connect the Readings). Week 8: 第8回: 中間テスト・解説: Unit 1-2 の筆記試験および美術作品の分析課題。宿題: Unit 3: Power of Ideas / Reading 1: A Bright Idea. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 9: Unit 3: Cities / Reading 2: Clean Travel Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 10: Unit 3: Cities. Unit Review (Vocabulary Review & Connect the Readings). Week 11: Unit 4: Food / Reading 1: Eat Less Meat. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 12: Unit 4: Food / Reading 2: An Unusual Garden. Reading Comprehension. Vocabulary Practice. Week 13: Unit 4: Food. Unit Review (Vocabulary Review & Connect the Readings). Week 14: Summative Project Week 1 Week 15: Summative Project Week 2、授業改善アンケート Week 16: 期末評価 (Summative Assessment) Unit 3-4 を中心とした到達度の確認					
(7)成績評価の方法	授業期間中の習熟度を測る課題（50％）：授業内課題（reading/writing等）、Homework、小テスト（Unit Tests）、中間テストを総合して評価する。 期末テストあるいはそれに相当する最終課題（50％）：期末評価（Summative Assessment）で到達度を評価する					
(8)成績評価の基準	本授業の成績は、各評価項目（授業期間中の課題・小テスト・中間テスト・期末評価等）を総合して判定する。授業で扱った内容と同レベルの課題に対する到達度を目安として、概ね以下の基準で評価する。 可（Passing）：到達度が概ね60％以上。中間テストおよび期末評価で基礎的事項を理解し、基本的な設問に対応できる。美術作品分析課題において、画像に基づく適切な観察結果を3文以上で提示できる。 良（Good）：到達度が概ね70％以上。本文の主張・根拠を把握したうえで、問いに対して比較的正確に要点を整理して説明できる。分析課題で根拠に基づく説明ができる。 優（Very Good）：到達度が概ね80％以上。論旨の構造（主張・根拠・例示）を踏まえた分析・解釈ができ、複数観点を踏まえて妥当な評価を示せる。 秀（Excellent）：到達度が概ね90％以上。高い正確性で読解・分析を行い、前提も意識した深い考察を示すなど、高度なクリティカル・シンキングを一貫して反映できる。 不可（Fail）：到達度が60％未満で、授業で扱う基礎的内容の理解が不十分であり、課題・試験で求められる水準に達していない。					
(9)事前事後学習の内容	この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。学生は、授業に積極的に参加するために、授業前に指定された課題に取り組む必要があります。 多くの場合、これらの課題は授業内での準備や活動に基づいているため、授業への出席は非常に重要です。					

(9)事前事後学習の内容	
(10)履修上の注意	読解は受動的なスキルではありません。 本授業では、英文資料に能動的に取り組み、互いに積極的に関わることが求められます。 授業に十分に参加するためには、すべての課題を事前に完了したうえで出席する必要があります。 すべての課題は、オンラインの週ごとのシラバスおよび学習管理システム（LMS）に掲載されます。学生は、シラバスを注意深く読み、必要な場合は早めに質問や相談を行う責任があります。 授業ノートは英語で記載されますが、すべて容易に日本語に翻訳できます。
(11)質問、相談への対応	メールで連絡を取ることができます。連絡先情報は初回の授業およびLMSで提供します。返答には少なくとも24時間を要する場合があります。また、質問への回答は、個別ではなくクラス全体へのメッセージとして行うことがあります。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。 ・授業冒頭で学習グループを編成するため、時間厳守で出席してください。グループ分けの直後に到着する学生が多く、授業の進行に支障をきたす場合があります。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	McEntire, J. (2020). Reading and Vocabulary Focus 1. United States: Cengage Learning. ISBN: 9781285173191
【参考書】	特になし